



# KANBO 通信

## #3

「学ぶ、備える、伝える。」  
舞子高校 環境防災科通信

**6月15日より通常登校がスタートしました。  
新型コロナウイルス感染症を防ぐために、環境防災科では  
現在さまざまな授業を行っています。その一部を  
紹介します。**

### 2年生「環境防災講読」

1学期の授業テーマは「日常と非日常（非常）」です。これまで「非日常」だったものや時には「異常」に思えた光景が、このコロナ禍で「日常」化すると……。今回は非常用持ち出し袋の中身を改めて考えたりフェイスシールドを着けて不便さを体験したりしながら“これから”の変化に目を向けてみました。休校中に読んだ様々な文章とこれらの活動を踏まえて、今後は『「これから」の時代を生きる君たちへ（ドメニコ・スキラーチェ著）』を読み深めていきます。

### 3年生「人と社会」

手洗い啓発ポスターを作成しました。生徒昇降口にポスターを貼りますので、「いいね！」と思ったポスターにぜひ投票してください！また、ポスター作成が終わった生徒はゴミ袋を使った手作りの感染予防着の作成も行いました。今後は、「新型コロナウイルス蔓延下で災害が起きたらどうするか？」について授業で取り上げる予定です。



# 「いざ」というときに、あなた自身が他の人をサポートする立場となるために、知っておきたい「救急蘇生法」。新型コロナウイルス感染症が流行中している状況下の救急蘇生法に以下の手順が新たに加われました！

## ★基本的な考え方★

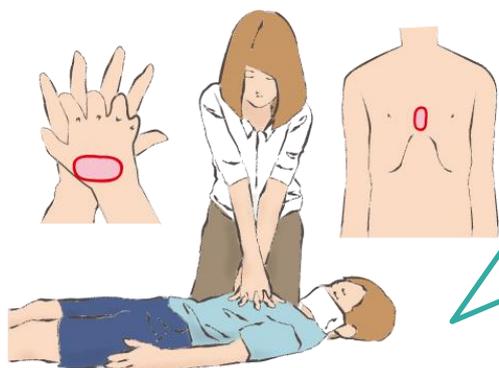
・新型コロナウイルス感染症が流行している状況においてはすべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応する。  
(胸骨圧迫のみの場合を含め心肺蘇生はウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気を発生させる可能性があるため)

## ★救急蘇生法の具体的手順★

- ① 安全確認
- ② **反応（意識）の確認**
- ③ 大声で応援を呼ぶ、119 番通報、AED の依頼、通信司令員の指示に従う
- ④ **呼吸の観察**
- ⑤ 普段通りの呼吸がなければただちに**胸骨圧迫を開始**。強く(約 5 cm)・速く(100～120 回/分)・絶え間なく(中断を最小に)
- ⑥ **胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回の組み合わせ**
- ⑦ AED 装着
- ⑧ 救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に普段どおりの呼吸や目的のあるしぐさが認められるまで続ける。



②④：顔を近づけすぎない



⑤：胸骨圧迫開始前に、ハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にそれをかぶせるように変更する。(マスクや衣服などでも代用可)

⑥：成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫だけを続ける。子どもに対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身に付けていて人工呼吸を行う意思がある場合には胸骨圧迫に人工呼吸を組み合わせる。

(AED ガイド <https://inoti-aed.com/covid-19-blis/>より画像引用しました)

## 🌀うちわプロジェクトについて

もらった人がうれしい、安心できる「紙うちわ」のデザインを環境防災科で募集し、1年7組の中田さんのデザインを採用することが決まりました。災害に備えて用意するものがイラスト付きでわかりやすいデザインになっています。舞子高校のみなさんにも配布予定ですので、このうちわを活用し、暑い夏を乗り切りましょう！

マスクをしていると水分補給が遅れがちになります。気づかぬうちに身体に熱がこもり、体温も上昇していきます。

どんどん暑くなってきていますので、熱中症に注意しましょう！！

